

第50回 口腔機能って何だろう？

= 「最期に・・・」 =

北九州在宅医療・介護塾
塾長 久保 哲郎

約4年間にわたって掲載させて戴きました「口腔機能って何だろう？」も、今回の第50回をもって終了することになりました。

第50回を迎えることができ、心から感謝させて戴きます。

●「歯と口腔」と「全身」を図示したペインフィールドマップ（脳地図）では、大脳の一次運動野と体性感覚野の約8割に口腔・顔面・手指が対応しており、手や口を使って食べたり、身振りや手振りで会話をすること、つまり口腔機能は大脳と大変重要に関わっていることが理解できます。

そして、口腔機能と認知機能とは強い相関関係があるとの報告があることから、軽度認知障害（MCI）がみられた認知症初期から積極的に口腔ケアに

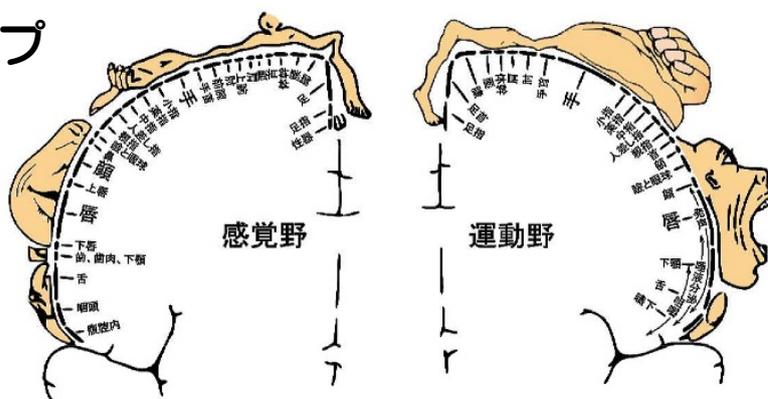
取り組み、口腔機能維持・改善に取り組むことが必要です。

●従来の口腔ケア（器質的口腔ケア・機能的口腔ケア）の他、顔面ケア（化粧・整容療法）についても、とくに女性の認知症の方には化粧の動作を通じて「運動機能や認知機能の維持・改善」、「社会性の回復」「老人性抑うつ予防」の他、多くの効果が期待されるといわれています。口腔ケア実施の際には顔面ケアにも取り組んではどうでしょうか？

●最後に顎・顔面・口腔は「“生きる”を支える領域」であり、「口腔機能」って本当に大切な、素晴らしい機能といえるのではないのでしょうか？

認知症の予防や進行抑制のために、是非とも「口腔機能維持・改善」に取り組んでください。 終

ペインフィールドマップ



人（ヒト）の大脳皮質をテンキ刺激し、皮質上の身体部位の図の大きさは、その部位を司る大脳皮質の面積に比例していることが分かりました。